

## VII 看護の仕事イメージ

### 1. 看護の仕事イメージ (表38)

看護の仕事イメージは、「やりがいがある」「むずかしい」「体力が必要」「毎日が勉強」「責任が重い」の5項目は、「まったくそうである」「ややそうである」を合わせると、9割を超えている。一方「すばらしい」「つらい」「奉仕精神」という項目は、「まったくそうである」「ややそうである」を合わせても7割程度で、「ドラマティック」と答えている割合は5割に満たない。

## VIII 准看護婦(士)養成所への入学

### 1. 准看護婦(士)養成所への入学理由 (表39)

准看護婦(士)養成所に入学した理由は、「人のためになる仕事がしたかった」と答えている割合が50.2%と最も高く、次いで「資格を身につけたかった」43.6%と続いている。しかし「看護制度をよく知らなかった」という12.6%の存在は問題である。

表38 看護の仕事イメージ

	まったく そうである	や や そうである	ややそうで は ない	まったくそ うではない	無 回 答	合 計
やりがいがある	828 (62.0)	436 (32.6)	35 (2.6)	5 (0.4)	32 (2.4)	1,336 (100.0)
むずかしい	1,038 (77.7)	251 (18.8)	16 (1.2)	3 (0.2)	28 (2.1)	1,336 (100.0)
体力が必要	1,178 (88.2)	129 (9.7)	7 (0.5)	0 (—)	22 (1.6)	1,336 (100.0)
毎日が勉強	1,057 (79.1)	237 (17.7)	14 (1.1)	2 (0.1)	26 (1.9)	1,336 (100.0)
すばらしい	497 (37.2)	649 (48.6)	136 (10.2)	20 (1.5)	34 (2.5)	1,336 (100.0)
つ ら い	657 (49.2)	510 (38.2)	127 (9.5)	14 (1.0)	28 (2.1)	1,336 (100.0)
責任が重い	1,119 (89.1)	110 (8.2)	9 (0.7)	1 (0.1)	25 (1.9)	1,336 (100.0)
ドラマティック	142 (10.6)	481 (36.0)	479 (35.9)	197 (14.7)	37 (2.8)	1,336 (100.0)
奉仕精神	509 (38.1)	590 (44.2)	177 (13.2)	26 (1.9)	34 (2.5)	1,336 (100.0)
安定した職業	361 (27.0)	635 (47.5)	242 (18.1)	64 (4.8)	34 (2.5)	1,336 (100.0)

この設問は、複数回答であることから、「人のためになる仕事がしたかった」という項目と、「資格を身につけたかった」という項目は、同時に○をつけている割合が高い。

## 2. 准看護婦（士）養成所への入学希望

「准看護婦（士）養成所への入学が第1志望でしたか」という問いに対して「はい」と答えているのは、53.2%である。43.5%は「いいえ」と答えている。その第1志望は、3年制看護学校であると答えている割合が高いことから、准看護婦（士）養成所は3年制看護学校に入学できなかった看護職志望者の、受け皿的機能を持っている側面がある（表40）。

准看護婦（士）養成所（含む高等学校衛生看護科）に入学を決めたのは、中学（それ以前を含む）が最も多く、次いで高校3年生時となっている（表41）。

表39 准看護婦（士）養成所への入学理由（複数回答）

人のためになる仕事がしたかった	671( 50.2)
資格を身につけたかった	582( 43.6)
看護職は就職に有利	331( 24.8)
入学しやすかった	245( 18.3)
看護職は収入がいい	337( 25.2)
他の学校に比べて授業料が安い	71( 5.3)
人にすすめられて	304( 22.8)
看護制度をよく知らなかった	169( 12.6)
その他	197( 14.8)
回答者数	1,336(100.0)

表40 准看護婦(士)養成所入学が第1志望でしたか

はい	711( 53.2)
いいえ	581( 43.5)
無回答	44( 3.3)
合計	1,336(100.0)

第1志望はどのような種類の学校でしたか。あてはまるものの番号に○をつけてください(複数回答)

看護大学	15( 2.6)
看護短期大学	45( 7.7)
3年制看護学校	356( 61.3)
看護以外の大学	30( 5.2)
看護以外の短大	29( 5.0)
衛生看護科以外の高等学校	89( 15.3)
その他	41( 7.1)
無回答	( — )
回答者数	581(100.0)

表41 准看護婦（士）養成所への入学決定時期

中学（以前を含む）	601( 45.0)
高校1年生	20( 1.5)
高校2年生	53( 4.0)
高校3年生	471( 35.3)
看護以外の専門学校・大学に進学して	11( 0.8)
社会人になって	139( 10.4)
無回答	41( 3.1)
合 計	1,336(100.0)

## IX 准看護婦（士）教育の問題点

### 1. 准看護婦（士）教育の評価（表42）

准看護婦として就業したことのある学生に、准看護婦（士）養成所での教育内容が実際の臨床現場での程度役立っているかを回答してもらったところ、「ある程度」役立ったという回答が63.7%と一番多かった。

### 2. 准看護婦（士）教育および准看護婦（士）養成所通学中の雇用主との関係や問題点（フリーアンサー）

准看護婦（士）教育の内容面については、教育のレベルが様々な視点から指摘されている。

勤務先での問題点では「勤務時間が長くてきつい」「お礼奉公がある」あるいは「卒業後就職するという誓約書を書かされた」などの問題や、さらには「無資格なのに看護婦業務をさせられていた」という実態がある。またこの間の苛酷な労働への報酬は少ないと答えている。

現在でも、医師の家庭での小間使的仕事はあり、さらには暴力をふるう医師の病院で勤務していた学生もいた。無資格で看護婦業務をさせられ、准看護婦（士）養成所に通っているという実態が、今でも残っている。

表42 准看護婦（士）養成所の教育が現場で役立ったか

かなり	54( 11.1)
ある程度	309( 63.7)
あまり	87( 17.9)
まったく	11( 2.3)
無回答	24( 4.9)
合 計	485(100.0)